

梅毒が急増しています！

～自分や大切な人を守りましょう～

梅毒は性感染症の一種で、「過去の病気」のように思われるかもしれませんが、近年、国内での梅毒患者の患者報告数が増加しており、高知県でも2021年は96例の報告があり、過去最高となりました。また2023年は62例、2024年は8月末時点で29例と依然として例年に比べ患者報告数が多い状況です。

梅毒とは

- 梅毒トレポネーマという細菌が原因です。
- 感染すると、感染部位（性器など）にしこりができたり、全身に赤い発疹（バラ疹）が出たりします。
- 症状がないこともあります。治療しないでいると病気が進行し、数年後に心臓、血管、脳など複数の臓器の障害につながる可能性があります。

感染しないために注意すること

- 性行為の際にコンドームを使用することで感染のリスクを減らすことができます。
- 不特定多数の相手との性的接触は感染リスクを高めます。
- 梅毒は治療が終了しても何度でも感染する病気です。治療終了後も適切な予防策（コンドームの使用、パートナーの治療等）を行いましょう。

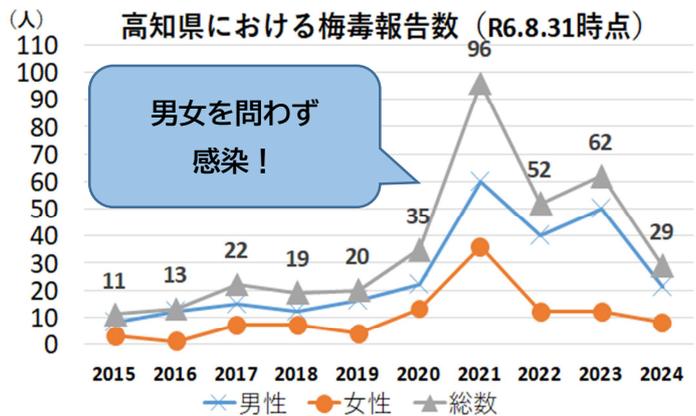
感染したかもしれないと不安な方へ

- 症状がある場合は、皮膚科・泌尿器科・産婦人科などを受診し、治療を受けましょう。
- 感染しても、早く発見し、適切に治療すれば治ります。
- パートナーも一緒に検査を受け、感染していたら治療することが重要です。
- 感染の可能性があった日から十分な期間（約1ヶ月）をおいて、血液検査を受けましょう。

保健所での匿名・無料検査について



県内の各保健所では、無料・匿名の血液検査を行っております。
感染したのではないかと不安な方は、ぜひご利用ください。
※HIV、クラミジア（高知市保健所を除く）と同時検査可能
※事前予約制、裏面参照



※バラ疹
提供：猿田皮膚科 猿田隆夫院長